

新潟市民病院 公開・オプトアウト書式

テンプレート

申請番号 21-077	
研究課題名	新潟市民病院認知症ケアチームの活動に関する臨床研究
情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	<p>認知症高齢者の入院が増える中で、環境変化に適応できずに入院生活に混乱を生じ、様々な行動心理症状を引き起こすケースが増加している。当院では診療改善支援チームとして認知症ケアチーム(Dementia Care/Support Team: DST) が結成され、2018年9月に活動を開始した。本研究は観察研究であり、患者診療情報を調査に利用する。当院における DST 介入のアウトカム評価と評価に基づいた介入方法の検討を進めることを目的とする。</p> <p>研究の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> DST 介入症例の実態調査: 当院における DST 介入症例の実態を調査し、認知症患者のせん妄の発症状況、DST 介入内容、短期予後を明らかにする。 せん妄発症リスク因子の検討: 当院における認知症患者のせん妄発症リスク因子を明らかにする。 せん妄の短期予後予測因子の検討: せん妄が短期間に改善した群と改善しなかった群(治療抵抗例)の予測因子を明らかにする。 アンケート調査による DST 活動の成果と課題の検討: 看護師および医師を対象とするアンケート調査により当院における DST 活動の成果と課題、医療スタッフのニーズを明らかにする。 <p>情報の利用に際して、患者および医療者のプライバシー保護に十分配慮し、個人情報漏出防止を徹底する。学会・研究会で報告あるいは論文として発表する場合は、個人が特定されないように十分に配慮する。また、本研究は観察研究であり、研究によって患者個人に不利益や危害が及ぶことは想定されない。</p>
利用または提供する情報の項目	患者診療情報全般(とくに認知症の病状、せん妄発生状況、治療内容・経過など)、他機関への情報の提供なし
対象者及び対象期間	認知症ケアチーム介入患者、2022年4月1日～2027年3月31日
利用の範囲	本研究内
試料・情報の管理について責任を有する者	認知症ケアチーム責任医師、本研究責任医師: 他田正義
問い合わせ先	
共同臨床研究機関	なし
備考	